

北海道立教育研究所 主任 小長谷 葵 平成30年度採用(教育行政C)



○主な経歴

H30.4 上川教育局

R4.4 道立教育研究所

－北海道の教育行政を選んだ理由－

大学時代に教育行政を学び、卒業後は専攻とは異なる分野で就職し、海外及び道外の2つの職場で働きましたが、教育への関心はいつもどこか心の片隅で持ち続けていたため、これまでの経験を生かして当事者として関わろうと思い、故郷である北海道の教育行政C区分を受験しました。

－勤務してみて感じたこと－

地方教育行政と一言でいっても業務範囲は非常に広く、無限のチャレンジが広がっているということ、また、それぞれの分野のプロフェッショナルがいるので、話を聴いているだけでもとても興味深いということを感じています。

－担当業務とそのやりがい－

教育に関する研究及び教員への研修を行っている道立教育研究所の教育資料や物品の管理、庁舎維持に関する契約業務が主な担当です。一つ一つの仕事は地道な作業の積み重ねですが、思いを馳せると教育現場、その先の子どもたちの笑顔に繋がるところにやりがいを感じます。

－道教委の仕事の魅力（北海道で働くことの魅力）－

勤務地が全道各地にあるため、異動の度に新たな学びと出会いがあり、自分の知見と経験を積めるところが魅力です。また、通勤のストレスが少ないこと、子育てしやすい環境であることにより、私生活を充実させられることも良さの一つです。

－所属の雰囲気（はたらきやすさ）－

上司への相談や同僚との対話がしやすく、温かい雰囲気があります。また、子どもが急に体調を崩したり、平日の学校行事に参加したりすることが度々ありますが、上司や同僚は家庭の状況に関してよく理解してくれており、時差出勤、テレワーク、子の看護のための休暇、年次有給休暇を活用しています。

－余暇の過ごし方－

週末は家族とゆっくり過ごす時間を大切にしており、特に子どもたちの笑顔が私の元気の源です。夏と冬の年2回は長めに休暇を取得して旅行し、日常から離れることによりリフレッシュしています。

－これから教育行政区分の試験を受験する方・採用予定者へのエール－

教育を通じて多種多様な業務を経験し、スキルアップできる職場を選んだことに誤りはなかったと感じています。皆さんと、北海道の教育のために、想いを一つにして、一緒に働くことを期待しています。